

まちの話題 あれこれ

身の回りに起きた出来事など、
楽しい情報をお寄せください。
役場企画財政課情報係
(☎ 611-2724)

災害時に備えて万全の体制を 企業との連携協力を深める



特設公衆電話の設置・利用に関する覚書を締結した
佐藤支店長(前列左から3人目)と高橋町長(同4人目)

町とNTT東日本盛岡支店(佐藤善通支店長)は2月25日「特設公衆電話の設置・利用に関する覚書」を締結しました。この覚書は、避難所となる公民館に、町と同支店が優先的に通信ができる電話回線と電話機を設置するもので、災害時に公衆電話として安否確認などに利用することができます。

また、3月11日には、町と東邦岩手株式会社(竹内久司代表取締役社長)が「災害時における応急対策用燃料(エルピーガス)の供給に関する協定」を締結しました。



応急対策用燃料の供給に関する協定に調印した
竹内社長(写真左)と高橋町長

大きな希望を胸に旅立ちの日 町内中学校で卒業式行われる



それぞれ3年間の思いを込めて合唱を披露

町内の中学校の卒業式が3月12日(矢巾中学校)と15日(矢巾北中学校)に行われ、両校合わせて294人の生徒が思い出の詰まった学びやに別れを告げました。

矢巾中学校の卒業式では、和田校長が130人の生徒一人ひとりに卒業証書を授与し「皆さんのこれからの『道』が、いつまでも洋々としたものであることを願っています」とあいさつ。卒業生は答辞で「中学校生活のすべてが私たちの成長の糧だった」と振り返り「皆さまに見守られながら、それぞれの未来へ、また一步を踏み出します」と決意を表明しました。

和田校長が一人ひとりに卒業証書を授与





認知症の人を支える地域活動が評価

本町の「やさしさはばたく認知症支援ネットワーク」の「わんわんパトロール隊」などの活動が、認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるための取り組みに贈られる「認知症の私と輝く大賞2016」を受賞しました。



太陽光発電設備寄贈に感謝状

コカ・コーラ教育・環境財団が、不動小学校に太陽光発電設備を寄贈。同校では2月29日に感謝の会を開催し、児童代表の細川稜太君が、みちのくコカ・コーラボトリング株式会社の栗谷川幸二常務に感謝状を手渡しました。



思い出を胸に未来へ旅立つ

3月4日、北日本高等専修学校（瀬川深志校長）の卒業式が矢次公民館で行われ、6人の卒業生が、勉学やスポーツ、地域でのボランティア活動など、たくさんの思い出を胸に、それぞれの道へ羽ばたきました。



高橋町長から花束を受け取り
笑顔を見せる五日市ウメノさん

矢巾3区の五日市ウメノさんが3月19日、満百歳の誕生日を迎えられました。22日にはデイサービスで通う「ケアビレッジとくたんの郷」（又兵工新田）を高橋昌造町長が訪問。ご家族や施設利用者が見守る中、ウメノさんに祝い状と花束を贈りました。

散歩が好きで、今でもつえをつきながらゆっくりと外を歩くというウメノさん。高橋町長が長寿の秘訣を伺うと「なんでも食べる」と、のんきに暮らすことだと笑顔で話しました。

**五日市ウメノさんが満百歳！
高橋町長が訪問し長寿を祝福**



会場内を回って参加者の質問に答える
油井亀美也さん

昨年、国際宇宙ステーション（ISS）に長期滞在した宇宙飛行士油井亀美也さんの「ミッション報告会〜亀の恩返し〜」（岩手医科大学主催）が3月13日、同校矢巾キャンパスで開催されました。報告会には約730人が来場。油井さんがISSでの生活などについて報告したほか、参加者の質問にも答え、宇宙の素晴らしさと、夢を持つことの大切さを伝えました。また、油井さんと岩手医科大学薬学部の阪本泰光助教らが対談し、宇宙で行ったタンパク質の結晶生成の実験について紹介しました。

**大きな夢で宇宙へ羽ばたく！
油井亀美也さんの報告会開催**